

絵本館へようこそ



今年で開館20周年を迎える「空とこども絵本館」。絵本を通して出会った縁を大切に、たくさんの方々の笑顔と夢がふれる絵本館を目指し、歩み続けます。

問う合む

空とこども絵本館 ☎23・0033

「時」をつなぐ

大火が生み出した町並み

昭和5年と7年の大火で小松の古い町並みの多くが失われました。その後、耐火性の高い鉄筋コンクリート造りの建物が建設され、現在は空とこども絵本館などとして保存・活用しています。

絵本館の姿になるまで

昭和6年、消防機能を備えた小松警察署が建設されました。警察署移

転後は教育委員会庁舎や埋蔵文化財調査室として活用し、建物再生時には歴史的な外壁を保存しながら内部を改修。観音下石の飾り柱やアーチ型タイルなどの意匠を残し、過去から未来へ当時の様子を継承する建物として親しまれています。絵本館が開館した当時は年間3万人が訪れ、現在に至るまで多くの人に利用されています。

時代と共に新たな役目へ

昭和5年に加能合同銀行(後の北國銀行)として建設された絵本館ホールは、平成14年に市所有になりました。円筒形の塔屋やアールデコ風の門構えが特徴で、館内には銀行時代のカウンターや金庫、らせん階段などが残されています。現在はミニコンサートや講演会に利用され、貴重な絵本資料も公開されています(見学希望は絵本館に申し込み)。

- 1 教育委員会庁舎として使用していた頃(昭和40年代)
- 2 建物前に集合した消防団(昭和16年)
- 3 現在の絵本館ホール(夢の本棚)
- 4 らせん階段(改修前)
- 5 銀行入口(改修前)



現在の絵本館の外観



1



2



3



5



4



「心」「ことば」

「世代」をつなぐ



みんなの声

「一緒に安心して過ごせる場所」

私はブラジル出身で、小松に住み始めて3年経った頃、子供と一緒に過ごせる場所を探していた時に絵本館を知りました。お気に入りの場所は、たくさんのお絵本が並ぶ2階です。子供が自由に絵本を選び、のびのびと過ごせる空間が、うれしいです。
私自身も絵本を通して日本の言葉や文化に触れることができ、学びや発見があります。絵本館で多くの絵本に出会うことができました。



「絵本で成長を感じる瞬間」

絵本館や自宅では、子供たちが選ぶ絵本を読み聞かせし、一緒に楽しんでいます。何度も同じ絵本を読んでいるうちに、子供が物語のフレーズを口ずさんだり、絵本の場面を自分以上に覚えていたりすることがあります。そんな姿を見ると、子供たちの成長を感じ、とてもうれしく思います。これからも家族で利用しながら、たくさんのお絵本との出会いを楽しんでいきたいです。



開館当初、ボランティアとして携わった皆さん、そして開館から令和4年度まで館長を務めた尾木沢さんにインタビューをしました。

【ボランティアだった皆さん】
絵本館は当時、県内初の絵本に特化した施設でした。「わくわく、どきどき



き」の気持ちで活動に参加しました。絵本館では、子供がのびのびと過ごしていたことを覚えていますが、親子の憩いの場であると同時に、ボランティアである私たちにとっても日常から少し離れ、子供たちと触れ合うことができ癒やしの場所でした。

【尾木沢さん】
ボランティアの皆さんのおかげもあり、活気のある絵本館でした。おはなし会で読み聞かせが始まると、子供たちが顔を上げ、物語に聞き入る姿が印象に残っています。その光景を見る度に幸せな気持ちになりました。

どんな絵本館になっ
てほしいですか？

多くの世代に絵本館を利用してもらいたいです。絵本館に来ていた子が親となり、自分の子供を連れて来館してくれたら、うれしいですね。また、絵本館は親子だけでなく、誰でも来館することが出来ます。子供の頃に絵本に親しんできた大人の皆さんも絵本館で絵本を手に取り、懐かしさを感じてみませんか。
絵本館が、世代を超えて人々をつなぐ場所になることを願っています。



▲ボランティアだった皆さんと尾木沢さん(後列右)



▲子供たちが聞き入るおはなし会

Information

20周年
イベント

開館20周年記念セレモニー
とき 7月11日(土)10時30分~11時 ところ 空とこども絵本館
安野光雅・かこさとし・松居直 生誕100年記念 特別展
絵本の旅人・3人 ~深く感じ 深く思い 深く考える~
とき 10月3日(土)~11月8日(日)
ところ 本陣記念美術館・絵本館ホール 夢の本棚

